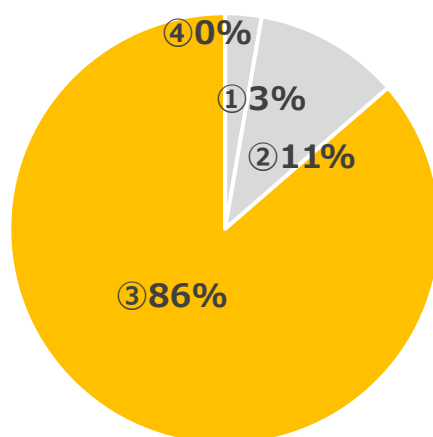


2020年度 研究倫理教育講習会理解度チェックアンケート

赤字：正答

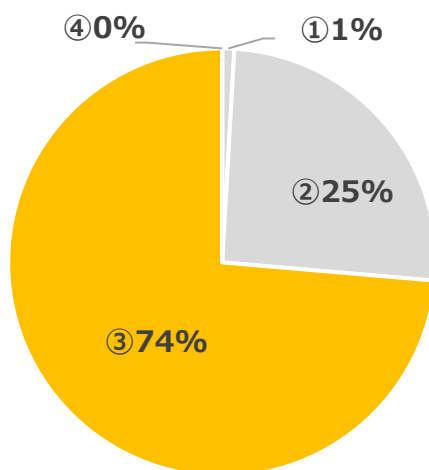
1. アメリカの生物医学・行動科学研究の被験者保護のための国家委員会による「ベルモント・レポート：研究対象者保護のための倫理原則及び指針」の「基本倫理原則」と「適用」の関係で正しくないものを1つ選びなさい。

- ① 人格の尊重とインフォームド・コンセント
- ② 善行とリスク・ベネフィット評価
- ③ 正義・公正と利益相反管理



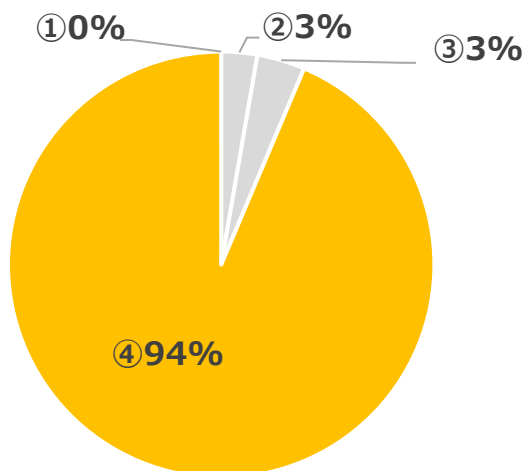
2. 研究倫理の歴史、基本的な思想について、正しい記述を1つ選びなさい。

- ① 日本に研究を規制する法律がないのは、そのような法律があるアメリカと比較して、非人道的な研究に関する事件が過去に殆どなかったからである。
- ② インフォームド・コンセントは研究倫理の基本の1つであるので、1964年に作成されたヘルシンキ宣言の初版でも、現在と同じような考え方が既に確立されていた。
- ③ 研究に参加する被験者を被験者以外の存在(研究者自身、研究倫理審査委員会)が保護しなくてはならないのは、被験者は社会的弱者であることが多いからである。



3. 次の中で個人情報ではないものを1つ選びなさい。

- ① 名前の付いていない顔写真
- ② 名前と連絡先・住所を消したカルテ情報
- ③ 指紋の写真
- ④ この中にはない



4. いわゆるオプトアウトのやり方として適切な考え方を1つ選びなさい。

- ① 過去に通院していた患者のデータを使う研究について、病院のロビーに文書を掲示する。
- ② オプトアウト文書で「利用する項目」を説明するために、「群馬パース病院循環器科で診療を受けた患者さんのカルテ」と書いておけば十分である。
- ③ 現在も通院している患者のカルテ情報を使う研究については、オプトアウトで研究協力の意思を確認すれば良い。
- ④ **この中にはない。**

